

木造聖観音立像



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうしょうかんのんりゅうぞう
所在地	倉敷市西阿知町 遍照院
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	総高90cm、檜材の一木造。聖観音はのちの十一面、千手などと区別して、最初の観音という意味から称される。全体的に素朴な雰囲気が漂い、豊かな頬やまろやかな肩の線など、平安時代中期の作風を伝えている。
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	
備考	